

「文明の利器」と生活スタイル

1. 全自動洗濯乾燥機の故障

右掲は、パナソニックの全自動洗濯乾燥機ですが、実は、自宅でのシリーズの物を使用しています。うちは共働きだったので結婚した当初から洗濯機と乾燥機を使っていました。いわゆる2段式で洗濯機の上にラックで乾燥機を載せていたのです。もう5年近くになるのですが、平成25年末に洗濯機が壊れて、その時は私が洗濯機を買う事になったのです。難波にあるヤマダ電機に行き、まず、乾燥機を探したのですが、店内のどこにも見当たらず、しかたなく店員さんに聞くと単独使用の乾燥機は在庫しておらず、必要なら受注生産になり納期は3ヵ月後という事であきらめ、洗濯乾燥機を探したのです。



たぶん、接客してくれた店員さんはパナソニックからの派遣の方だったかと思うのですが、12～13万円ほどの洗濯乾燥機は熱風式なので生地を傷めると熱心に話して下さり、しきりにドラム式はヒートポンプの温風でふんわり仕上がると薦めてくれるのです。しかし、30万円近い値段なので、何度も売場を往ったり来たりして迷ったのです。決め手になった殺し文句はヒートポンプ式なので乾燥に時間がかかるが電気代は1回20円程度だという事で、「まあ、うちの女もドラム式でええか」と思い購入した経緯がありました。

妻はドラム式を買って来るとは思っていなかったようで非常に驚き、我が家にドラム式洗濯機が来た日は使用説明を受けた筈なのに夜中に「これ、どう使うのか」と聞いてきたのです。私は、説明を聞いていなかったのですが、「こんなのは全部自動のボタンを押せばいいんや」と思い「洗濯－乾燥」にセットして「おまかせ」コースでボタンを押したのです。ホンマに洗剤投入量の指示通りセットすれば、後は自動的に「ふんわり」仕上げで乾燥し、洗濯槽まで洗浄する機械でした。妻は喜んで毛布や寝具まで洗濯して喜んでいましたが、約1ヵ月後にバス・ツアーに一人で行き、その旅先でヒート・ショックで急死したのです。

その後、この洗濯機のお蔭で安心して仕事に出る事が出来たのですが、それから、約5年が経過して、10月27日(土)にH59のエラー表示で故障したのです。洗濯機のコール・センターに電話したらヒート・ポンプ周りのエラーなので、大阪のサービスセンターから明日の10時に担当者から連絡を入れるという話で、しかも、来ただけで3700円が必要だし、修理代は約2万円するという事を念押しされました。そして、翌日、担当者が来て調べてくれて、ヒートポンプのモーターが故障なので、それを取り寄せる必要があるがタブレットで探したが、どこにも在庫がないという事だった。残念に思っていたら、「洗濯－すすぎ－脱水」までは出来るとの事で一安心したのです。

2. 洗濯物を干す

担当者が帰った後、洗濯をして、急遽、近所のコインランドリーで乾燥させました。しかし、毎日、300円も乾燥機に使うのは勿体ないので、ベランダで干すようにしたのです。なにせ約5年もベランダに出る事がなかったので、物干し棹もベランダの壁も埃と言うよりも泥だらけという感じなので、急遽、大掃除になったのです。そして、干すにはハンガーや洗濯バサミが必要なので、これもホームセンターへ行って購入しました。ハンガーのフックを棹に止めるハサミもあって、風に吹かれてハンガー移動して引っ付く事もないし、何よりも安心できる事が判明したのです。

次に、干し上がったらパリパリという事があって、昭和な私は着ると勝手に柔らかくなると思うのですが、同居の三男は柔軟材を使えと言うのです。これも近所のモーニング友達のご婦人たちに聞くと柔軟材は当たり前との事で「時代やな」と観念してハミングという柔軟材を購入しました。お蔭様でふんわり感はあるのですが、個人的にはパリパリでも構わないという感じです。

問題は、洗濯時間が約40分、それを干すのに約10分、次に、取り入れる時もハンガーなどを外すので約10分という手間がかかる事が課題になったのです。幸いにも1週間後にモーターが入手できたとの事で11月4日(日)に修理が完了したのです。お蔭で、また、ボタン一つで洗濯乾燥の便利さに戻ったのです。ホンマにこの1週間ほどの期間ですが、主婦の方々のご苦勞を体験したのです。

3. AI時代を体験

今回の故障で既にAI時代が始まっていると実感したのです。洗濯機は自身で故障診断してエラーコードを表示し、コールセンターはそれによって修理代なども話せるし、実際に来た担当者はタブレットを使って状況をより精密に診断して、必要な部品を確認していたのです。事前情報で基盤を持って来ていたとの事だが、実際には、モーターの交換も必要だったのです。そのモーターもタブレットで手配するが在庫がない事までその場で判明したのです。

NHKなどがAIが仕事を奪うという番組を流していますが、その中でメンテは人が行うが、現場ではAIからの指示に従って作業すると言っています。まさに、その通りの事を体験したのです。同じような事は自動車でもありました。もう17年使用している三菱エアトレックが故障した時もコンピュータ診断で行っていました。この時もベテランの整備士は要らない時代だと実感したのですが、洗濯機でタブレットで診断するのを見て、さらに、「AI時代は既に始まっている」と実感したのです。ホンマに現場経験が豊富な技術者よりも接客が上手な担当者が必要な時代になっていると時代の移り変わりを実感したのです。

4. 生活スタイル

私は、約5年前に妻に先立たれてから、人生初の事柄にチャレンジしています。独身時代も親元におり、結婚してからは共働きでしたが、亡き妻が日常生活の殆どの事をしてくれて、ホンマに仕事に専念するだけで良い状態でした。妻は、きっと、不満が沢山あったと思いますが、私自身は自由な生活でやって来れました。この事は、多分、若い人には「昭和だ」と思われますが、おそらく妻はあきらめていたのだと思います。

しかし、約5年前に、突然、亡くなったので非常に困ったのです。幸い三男が同居していたので、精神的にも日常的にも助けられました。しかし、昨年、2月から半年間、三男が彦根に行きお客様のシステムづくりをしたので、全てを自分でする事になりました。この時に、多くの家電製品に助けられている事を痛感したのです。例えば、朝はパンとコーヒーなのでトースターとコーヒーメーカーの世話になり、洗濯物を全自動洗濯乾燥機にタイマーセットして仕事に出るのです。昼は、帰宅して昼食ですが、電子レンジで温める「ごはん」とスーパーで買った惣菜や自分で作り置きした惣菜を電子レンジでチンするだけ、そして、晩はIHで軽い物をつくり夕飯をすまし、乾燥まで終わった洗濯物を整理するだけというスタイルが確立したのです。

今も日常的には、ほぼ同じで、ご飯を炊飯器でタイマーをかけて炊く事が加わっている位です。このように、日常生活の主だった事は家電製品のお世話になっています。残るは、精神的な面や健康管理です。まず、精神面では、モーニングでご近所の方と話す事や地域活動に参加して人的交流の機会を多くしています。健康管理では、自宅と事務所は直線で500m位ですが、大回りをして約20分歩くようにして1日6kmを目標にしています。さらに、昼休みを兼ねて近くのジャンカラで30分110円6曲を楽しみストレス発散をしています。ホンマに有難い時代に生きていますと感謝して「健康寿命」を伸ばしながら人生を楽しみたいと思います。

【AMIニュースのバックログは <http://wwgw.web-ami.com/siryu.html> にあります！】